

## 第1回ワークショップの意見の整理

○第1回ワークショップでは、さまざまな観点からワークショップの進め方や細入地域の課題についてご意見をいただきました。

○皆様からいただいたご意見を整理したところ、6つの視点にまとめることができました。

視点	第1回ワークショップでいただいた主なご意見
① 地域の活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 猪谷関所館は、猪谷駅にも近く、外国人も含めて観光客がよく訪れている。猪谷駅は JR 高山本線の特急も停まる。このようなことから関所館は富山市の南の玄関口としてシンボリックな役割を果たしていると思う。</li> <li>● 猪谷関所館は市内の子どもたちの社会教育の場として重要だと思う。展示だけでなく、歴史探訪ウォークなどの企画や様々な研修・講座も開催しているので、もっと PR 等の運営面を工夫すればより素敵な施設になると思う。猪谷のシンボリックな施設になる可能性がある。</li> <li>● 天湖森、楽今日館、林林の3施設は、現在、市の第三セクターが運営していて、住民も 25%の株主になっている。そのようになった経緯を考えると、3施設は細入地域住民にとって思い入れがある施設であり、地域のシンボリックのひとつである。</li> <li>● 林林には野菜直売のコーナーがあり、売れ行きも好調で人気がある。直売をする地域住民（主に高齢者）の生きがいにもなっているようだ。このような取り組みをもっと充実させて活性化につなげることはできないだろうか。</li> <li>● 地域外の人からすると、細入地域は山の中とわかってい</li> </ul>

視点	第1回ワークショップでいただいた主なご意見
	<p>るのではないか。そのイメージを変える施設があれば、若者が帰ってきたり、移住する人が出てくるのではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 老朽化した空き家が増えている。そうした空き家が地域の中に並ぶのは若者も嫌がるのではないか。観光客を増やすにはまちの景観への対応も必要となる。</li> <li>● 若い人が魅力的に感じる施設にし、地域外から人が訪れるようにするのが良い。</li> <li>● 地域内に中学生はいるが、楡原中学校に通っている生徒は少ないと思う。学校が選択制となり、別の地域の学校に通っている。人数が少ないことによる利点もあるが伝わっておらず、部活動などを考えて人数の多い学校に通っているようだ。中学校自体に魅力を持たせられると学校の存続につなげていけるのではないか。</li> <li>● 楡原中学校にはボート部があるので、他の地域からボートをやりたい生徒が通っている。売りにはなるがボートだけでは弱いとも思う。</li> <li>● 40年後に地域の人口が250人になるのはショックだが、指をくわえて見ているわけにはいかない。子どもや孫の時代に向けて、人口の減少曲線が緩やかになる地域にしていきたい。</li> <li>● 小学生や中学生が少ない。若者が結婚しても大沢野地域や富山市内に出ていってしまう。</li> <li>● 若者の定住が少ない。地域内の若者が住みたいという声もあるが、家を建てる場所がない。住みたいという若者の声を反映して、宅地を作るなど、若者が住宅を建てら</li> </ul>

視点	第1回ワークショップでいただいた主なご意見
	<p>れる環境を作ることが必要だと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 集会施設内にシェアオフィスができると地域の人だけでなく地域外の人からも利用してもらえるのではないかと。富山市内にオフィスがないという話を聞くので、そうした環境が整備できると良い。細入地域内はネット環境が光回線ではないので、シェアオフィスは光回線にしてネット環境を整えられると良い。</li> <li>● 廃止や統合に反対ではないが、地域の活性化につながるような施設は残してほしい。</li> <li>● 猪谷関所館は、もう少し交通の便が良いところや、人が集まる場所に移転しても良いのではないかと。国道沿いの南部地区センターの中に機能を入れれば職員もいるし、駐車場も備えているので今よりアクセスしやすくなる。貴重な展示物がある良い施設だとしても、人が来なければ活性化しない。</li> <li>● 小学校のブラスバンド部が廃部になってしまったために、細入公民館を拠点とした地域住民のブラスバンド部を立ち上げたばかりである。細入公民館は地域コミュニティの大切な場でもある。</li> </ul>
② 変化する社会ニーズへの対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 施設を減らさなければならないのは分かるが、必要な物は残してほしい。そのためには必要な施設と必要ではない施設の判断をしていく必要があるだろう。</li> <li>● 人口が少ない地域なので、住民のための施設の利用者数は当然少なくなる。利用者が少ないから無くすという考え方だと、存続できる施設が少なくなってしまう。利用者数が少なくても、地域にとって必要な施設はあるので</li> </ul>

視点	第1回ワークショップでいただいた主なご意見
	<p>利用者数だけで判断してほしくない。</p> <p>【集会施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 若い世代は公民館を全く使わないので無くなっても支障はない。お父さん世代が使う施設という認識だ。</li> <li>● 一番大きい細入公民館でも、大きなイベントや細入全体の行事くらいでしか利用しない。</li> <li>● 細入南部地区コミュニティセンターは猪谷の住民が、細入公民館は楡原の住民が使っており、基本自分の地区の公民館しか使わない。稼働率は悪いかもかもしれないが地域の南北が12 km程あるため、夜の会合や高齢者の利便性を考えると、それぞれの地区に公民館は必要だ。</li> <li>● 細入北部地区コミュニティセンターは使ったことがない。目的や要望、必要があって作った建物ではないので利用者が少ないのも当たり前だろう。自分たちは使わないが、この施設を利用している人たちの意見を聞いて検討したらどうか。</li> </ul> <p>【図書館】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 細入図書館は住民も保育所の園児も利用しているし、新しい本もたくさんあるので残してほしい。</li> </ul> <p>【スポーツ施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 楡原プールを神通碧小学校のプールとして使用することになり、元々利用していた地域住民が利用できなくなったので困っている。</li> <li>● 楡原プールが使えなくなったので猪谷プールに行くしかないのだが、猪谷プールまで廃止になったら困ってしまう。廃止するのであれば、現在の神通碧小学校のプー</li> </ul>

視点	第1回ワークショップでいただいた主なご意見
	<p>ルを地域住民も利用できるようにしてほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 猪谷地区は子どもが少ないので利用者はほとんどいない。みんな楡原プールを利用している。</li> <li>● 利用者数が多く見えるが、監視の親もカウントされているので実際はもっと少ないのではないか。毎日管理人を置くくらいなら必要ないのではないか。</li> </ul> <p>【学校・保育所】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 将来的に中学校が無くなるのなら、今のうちに大沢野に移ろうかと考えている人もいる。規模を縮小したり、複合化しても構わないので、保育所、小学校、中学校は地域に残したい。それが若い人の定着につながる。</li> <li>● 学校が選択できるようになって、児童、生徒数が少ない学校を避けて出て行ってしまう人が増えた気がする。選択肢があるのは良いが、児童、生徒数を更に減少させる要因になってしまった面もある。</li> </ul> <p>【保健施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 細入総合福祉センター内にデイサービスがあるが、来春からは民営化が決まっている。民営化しても、この場所にあるということが細入地域にとっては重要である。運営形態は変わっても機能は残していきたい施設である。</li> <li>● デイサービスにはリハビリがないので、リハビリしたい人は大沢野に行かざるを得ない。パワーリハビリ等の設備はあるが、対応できる職員がおらず使えないのはもったいない。</li> </ul> <p>【庁舎等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 細入中核型地区センターは耐震性がなく危険である。機</li> </ul>

視点	第1回ワークショップでいただいた主なご意見
	<p>能が残せるなら、総合福祉センターと複合化してコンパクトにしても良いのではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 現在の中核型地区センターの規模より小さくしても構わないので、公民館や総合福祉センターなどと複合化するのが良いと思う。細入地域内に庁舎機能は残してほしい。</li> </ul> <p>【医療・商業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域内に医療施設がないため、緊急時は遠い他の地域まで行かないといけない点は不安がある。通院は大沢野地域などの病院でも良いが、救急になると富山市民病院まで行かないといけない。対応策を考えたい。</li> <li>● 高齢者の一人暮らしが増える中で、スーパーや医療施設がないことが課題となっている。移動スーパーや訪問医療を整備することが細入地域にとって大切になってくるのではないか。</li> <li>● コンビニが1つくらいは地域に必要なだとの声もあがっている。駐車場も広いし、林林の中にコンビニの機能を入れたら地域内外の利用客が増えるのではないか。ただし、18時以降は交通量がかなり減るので、経営が成り立つかは懸念される。</li> </ul> <p>【子どもの居場所】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 子ども達の放課後の居場所がない。親の迎えが来るまで子ども達が待っている場所が現状は狭いので、自由にのびのびとできる場所が必要だと考えている。</li> <li>● 中核型地区センター、公民館、総合福祉センターの3つを1つに統合するのが良いと思う。加えて子どもが放課</li> </ul>

視点	第1回ワークショップでいただいた主なご意見
	<p>後にいられる児童館を一緒にすることで、放課後の居場所づくりにもつながる。従来利用率の低かった施設が複合化によって利用率が高くなれば良いと思う。</p>
<p>③ 利便性の確保</p>	<p>【機能面】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 統廃合することで施設の利用価値が高まったり、利便性が良くなったりするという前向きな方向性で検討したい。1つの施設で複数の用事を済ませられるような便利な使い方ができると良い。やむを得ず統廃合するという後向きな話にしたくない。</li> <li>● 図書館や児童館もあるので、保育所も小学校に移転してはどうか。特色が出て良いのではないか。</li> </ul> <p>【アクセス面】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 細入地域は既に施設や居住地がまとまっているのでコンパクトビレッジだと言えると思う。地域の施設全体の面積を縮減するために、複合化はやむを得ないが、機能面などの質は確保してもらいたい。面積を縮減する中で機能も細入地域からなくなり、大沢野地域の施設を利用することになるのは不便なので避けたい。</li> <li>● 細入中核型地区センターを建て直すのは難しいと思っている。細入地域に庁舎がなくなった場合は大沢野地域の行政サービスセンターまで行くことになると思うが、細入地域は高齢者が多いのでアクセスする方法を検討する必要がある。</li> <li>● 細入中核型地区センターの機能は残してほしい。免許などを取るために遠方まで行くのは大変だ。</li> </ul>



視点	第1回ワークショップでいただいた主なご意見
④ 安全性の確保	<p>【防災】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 公共施設を再編しなくてはならない状況になっていることは理解できたが、築年数や稼働率などのデータのみで単純に再編するのではなく、災害時のことも考えた公共施設のあり方を検討してほしい。特に猪谷は公共施設が少なく、高齢者も多いので、災害時の避難所配置のあり方も考慮して施設の再編を検討していかなくてはならないと思う。</li> <li>● 災害時には、猪谷の住民にとって細入南部公民館（細入南部地区コミュニティセンター）が大切な施設になってくるだろう。峠を越えて細入公民館まではたどり着けないし、下夕南部のコミュニティセンターに避難しようとしても川があるのでたどり着けないと思う。災害時のことを考えると、将来的に公民館は小学校区に1施設といった単純な縮減の仕方はしないでほしい。</li> <li>● 楡原と猪谷は峠に挟まれている。楡原は公共施設も多いが猪谷は少ない。災害時、楡原の住民は避難所である細入公民館にすぐ避難できるが、猪谷の住民は土砂崩れで道路が通れなくなってしまうたら細入公民館まではたどり着けないだろう。また、下夕南部のコミュニティセンターに避難しようとしても川があるのでたどり着けないと思う。</li> <li>● 災害時の避難場所に不安がある。中核型地区センターは山が裏手にあって大雨の際に土砂崩れの恐れがある。また避難しようとしても道路が通行止めとなってしまう避難所もある。</li> </ul>



視点	第1回ワークショップでいただいた主なご意見
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● プールとしての機能は必要ないが、防火用水の機能は残してほしい。</li> </ul> <p>【防犯】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 高齢者の増加に伴い、1人暮らしの世帯主が亡くなることで空き家が増加している。</li> <li>● 以前は南部保育所があったが、子どもがいなくなり北部地区の保育所と合併した。旧南部保育所の建物自体はまだ残っている。将来的にも使用しないと思うし、このまま残しておくとな審者が立ち入ったり、動物の住み処になったりする恐れがあるので、解体できるのであれば速やかに解体した方が良くと思う。</li> <li>● 廃止されてもそのまま残っている建物が多い。草が生い茂っていて見た目が良くないし、犯罪が起こる可能性もあるので、放置しないでほしい。耐震のことも含め近隣住民は不安だと思う。更地にして駐車場などとして活用した方が良く。</li> </ul> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 南部地区は大規模災害が発生した際には橋が通行できず、陸の孤島になる可能性がある。</li> </ul>
⑤ 利用しやすさ・運営の工夫	<p>【利用方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 細入北部地区コミュニティセンターは、細入村の時代に寄付していただいて市の施設になっている。現在、管理は自治会が担っているが、利用する際の制約が厳しく、利用後に自治会の人を呼んで施設内の確認をしてもらわなくてはならない。気を使ってしまうので細入公民館を利用する傾向がある。</li> </ul>

視点	第1回ワークショップでいただいた主なご意見
	<p>【運営方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 市に頼ってばかりではなく、特別積立などをして(株)ほそいりが改修費等を自分たちで賄えるようにならないといけない。そのためには、観光施設やまちづくりに特化している民間の会社にノウハウを借りたり、3つのレクリエーション施設をまとめて大きいものにするとも考えられるのではないかと。</li> <li>● 施設で働いている現場の従業員だけが頑張るのではなく、経営陣も含めた(株)ほそいり全体でアイデアを出していかないとだめだ。儲けようとしないと活性化には繋がらない。</li> </ul> <p>【PR】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 楽今日館の温泉はお湯がとても良く、特に女性に効果があるとのことだが、そういったことをもっとアピールしてもよいのではないかと。</li> <li>● 3つ（楽今日館、天湖森、林林）の施設を活性化させるにはPRが一番だ。</li> <li>● 富山市中心部などに温泉施設等ができ始めたので、観光客が減ってきている。楽今日館などの観光施設にもっと人が来るようにするためにはPRが必要だと思う。施設のポテンシャルはあると思うので、市にはそういうソフト面のサポートをしてほしい。</li> </ul> <p>【有効活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 天湖森を幼稚園や学校の校外学習に使えると良い。最近幼稚園の宿泊学習が流行っている。パークゴルフや釣り、天体観測など、施設内でできることはたくさんある。</li> </ul>

視点	第1回ワークショップでいただいた主なご意見
	<p>観光の機能だけでなく、社会教育の機能も持たせることで価値を高められるのではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 楽今日館は温泉施設もあるので、利用率を上げるために細入総合福祉センターにある入浴機能などの高齢者が利用する施設も敷地内に移転してはどうか。大沢野地域の春日温泉の近くにあるウインディが参考になる。地域の高齢者は観光客よりも安く利用できるようにして、楽今日館が地域の憩いの場になると良い。</li> <li>● 楽今日館のバスを活用することで地域内の高齢者だけでなく、地域外の高齢者も訪れることができるのではないか。</li> <li>● 細入総合福祉センターは空きスペースがある。地元の物産などを置くスペースとして活用できないか。</li> </ul> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域の人が地域の施設をどれだけ利用しているのだろうか。施設を残したい気持ちがあるのであれば、地域の人が利用して稼働率を上げる努力をしないといけない。施設の運営者も地域の人のことを考えた運営をすることで、地域に愛され、利用される施設になるようにしてもらいたい。</li> <li>● 天湖森は思ったよりも利用率が低い。土日の利用率は高いが、平日の利用率が課題になっていると思う。土日は利用しようとしても予約がいっぱいになっていることが多い。</li> <li>● (株)ほそいりは、住民も株主となっているので、簡単にやめて住民に迷惑だけはかけないでほしい。</li> </ul>

視点	第1回ワークショップでいただいた主なご意見
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 林林は交通の便も良いので利用客は多い。自分たちも地主として土地を貸しているが、契約書に閉店したら土地を返納すると書いてあった。だめになったら返納すれば良いと考えるのではなく、儲けようと努力が必要ではないか。</li> </ul>
<p>⑥ 効率化・財政負担の軽減</p>	<p>【譲渡・売却】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 細入北部地区コミュニティセンターは、必ずしも市の施設である必要はないのではないかと。寄付された建物なので簡単に廃止にできないと思うので、地域や民間に管理・運営を任せて維持する方法を模索してはどうか。安全面などの様々な課題はあるとは思いますが、手を上げる団体はいるのではないだろうか。</li> </ul> <p>【複合化】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 細入中核型地区センターは耐震性がないことから、細入公民館または総合福祉センターと複合化してもよいのではないかと。</li> <li>● 細入中核型地区センター、細入総合福祉センター、細入公民館をすべて複合化しても良いのではないかと。</li> <li>● 細入中核型地区センターは耐震性に不安があるし、老朽化しているので、細入公民館か細入総合福祉センターに統合してはどうか。職員も少なく、1階のスペースしか利用されていない。細入公民館も細入総合福祉センターも細入中核型地区センターと隣接しているので、利便性は変わらない。</li> <li>● 猪谷関所館は、もともと関所があった場所ではないし、今の場所にこだわらなくても良いと思う。</li> </ul>

視点	第1回ワークショップでいただいた主なご意見
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 後期高齢者ばかりが地域に残っていることが一番の課題だ。それに対する対策がないことに住民も気づいてきている。</li> <li>● 人口減少していくことは明らかなので危機感はある。</li> <li>● 大沢野と細入は近接しているのに、シルバータクシーが使えるのは大沢野だけという待遇の差がある。</li> <li>● ほそいり保育所は延長保育にも対応してくれるが、勤務先が富山市中心部の人が多いので、なかなか入園児が増えない。</li> <li>● デイサービスは細入の人だけが来るわけではない。同じ地域の方に弱ったところを見せたくないという理由から、違う地域のデイサービスに行く人が多い。</li> </ul>